

皆さんに支えられ、夢に近づけた



文系から一念発起、 岡山大学医学部に進学

元硬式野球部主将 野畑寛志

今、私は岡山大学医学部一年生として、大変充実した日々を送らせてもらっています。私は、元々は文系で教師を目指していました。私が医学部へ方針転換をしたのは、硬式野球部で夏の大会を終えてからでした。私にとっては最後の夏、敗戦ではあったけれど、野球に完全燃焼できたと思い、一念発起して、文系から理転し、医師になることを志しました。当然、家族をはじめ先生方にもなぜ?と何度も尋ねられました。しかし、誰も私の決断を否定しませんでした。決断直後の私にとっては、否定されなかったことが非常に重要でした。野球部では多くの経験と礼儀などを教わり、日々の授業では知的好奇心を刺激してもらいました。どんな医師が求められているか、どんな人材が必要か、何を満たせば望むべき人間になれるか等を模索し続けることで大学生活を熱く、密度の濃いものにしていこうと考えています。今このように思えるのも、今まで多くの方に支えていただいたからこそと思っています。この身に受けた御恩を少しでも多く還元していけるよう精進していきたいと思っています。



兄妹揃って インターハイ 出場決定!

兄(高3) 眞田 剛寛
妹(高1) 眞田明日香

男子400Mで中国大会3位になり、妹は、女子砲丸投げで中国大会2位になり、兄妹揃ってインターハイ出場が決まりました。

インターハイ出場は二人とも中学からの夢であっただけにとても喜んでます。

これも顧問の先生、家族、部員、その他沢山の方々の支えがあつての結果と大変感謝しています。特に今年は地元岡山の開催で、一層気合が入っています。全国大会に出場した、というだけで終わらず、今までお世話になったすべての方々に恩返しができるような大会にしたいと、兄妹共に全身全霊頑張ります。応援をよろしくお願いいたします。

活躍する部活動(個人)

	全国大会	中国大会
平成27年度	《中学》放送部 男子バレーボール部 フィギュアスケート 《高校》少林寺拳法部 陸上競技部 スキー	《中学》陸上競技部 男子柔道部 男子バレーボール部 《高校》男子バレーボール部 卓球部 陸上競技部 少林寺拳法部 野球部 文芸部 水泳
平成28年度 (6月現在)	中学高校コーラス部 《中学》少林寺拳法部 相撲 シンクロナイズドスイミング 《高校》少林寺拳法部 陸上競技部	《高校》男子バレーボール部 陸上競技部 男女卓球部 男子ソフトテニス部 水泳

平成28年度 金光学園行事カレンダー

- 4月 中1高1入校時合宿 中3沖縄修学旅行 保護者会総会
- 5月 避難訓練 中2山の学習(キャンプ改名) 中間考査 芸術鑑賞
- 6月 高2修学旅行(北海道・オーストラリア・シンガポールマレーシア) 中球技大会
- 7月 期末考査 オープンスクール「一日入学」(24日) 終業式(27日)
仁川英語村研修 保護者面談 地区会
- 8月 ほつま同窓会(11日) サマーイングリッシュキャンプ
- 9月 ほつま祭(10・11日) 友愛セール(11日) 高体育会(21日)
- 10月 中体育会(1日) 中1飯ごう炊さん 中間考査 高12球技大会 中入試模試
- 11月 高入試模試 創立122年記念式(16日) 中ロードレース
- 12月 期末考査 保護者面談 終業式(22日)
- 1月 中入試(4日) 高県外入試(9日) 中学生会長選挙
- 2月 高入試(2日) 高卒業式(28日)
- 3月 学年末考査 中義務教育修了式・ゆずり葉の会(17日)

※オレンジ色の行事は、皆様に自由にご参加いただけます。



金光学園中学・高等学校

教育後援会

「メタセコイアの会」のご案内

Guide to the education supporters' association



'2016



金光学園中学・高等学校

教育後援会「メタセコイアの会」

金光学園中学・高等学校 教育後援会「メタセコイアの会」事務局

〒719-0104 岡山県浅口市金光町占見新田1350 金光学園内 TEL:0865-42-3131 FAX:0865-42-4787

金光学園中学・高等学校 教育後援会「メタセコイアの会」へ 多くの方のご協力をお願いいたします



教育後援会
「メタセコイアの会」
会長 市川敏幸

皆様方には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より金光学園教育に対しましては、ひとかたならぬご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

金光学園教育後援会「メタセコイアの会」は、平成20年秋の創設以来多くの方々のご協力を頂き、そのご厚志で金光学園のシンボルともいえる記念講堂の改修や、ほつま体育館舞台の吊り物の大改修工事をさせていただきました。さらに一昨年は創立120年の事業として「120記念館」1階大講義室の椅子と机を寄贈、そして記念音楽会「鼓動」への支援もさせていただくことも出来、大変ありがたく心より感謝申し上げます。

昨年度からは「法人会員」へのご協力の呼びかけも積極的にいき、より多くの皆様方にこの会を知っていただけるよう活動しております。

6月に開催した総会では役員改選を行いました。新たな顔ぶれでこれから3年間の任期を精一杯務めさせていただきますので、さらなるご支援の程よろしくお願い申し上げます。

「メタセコイアの会」役員

平成28年度総会において、新役員が選出されました。

- 会長：市川敏幸
副会長：長鋪方隆 平松晃弘 山本雅夫
幹事：岩崎恭子 小川恭史 木村多志 楠戸敦子
藤井一浩 守永一彦 宮口智子
監事：大野 豊 小林彬二
顧問：佐藤元信
事務局：佐藤正俊 藤井 尚



【個人会員】

- 1口5,000円。可能な方は、2口以上お願いいたします。
- 振込用紙で納入または、直接学校事務室で納入してください。
- これは「入会金」ではなく「年会費」です。以前ご入金くださった方も、今年度の年会費としてお振込をお願いいたします。

【法人会員】

- 1口10,000円。可能な方は、2口以上お願いいたします。
- 全額損金扱いの「指定寄付」をお考えいただける場合は、下記までご連絡をお願いいたします。なお、「指定寄付」をいただいた場合も「メタセコイアの会」の会員とさせていただきます。

【お問合せ・連絡先】

金光学園「指定寄付金係」
Tel : 0865-42-3131 Fax : 0865-42-4787



新役員 岩崎恭子

共にメタセコイアの会を 盛り上げましょう

二人の息子の入学で金光学園へご縁をいただき、保護者として早くも八年目を迎えました。金光学園では整った教育環境と、先生方のきめ細やかなご指導により「学徳体」の教育を与您いただいております。「メタセコイアの会」は、将来を担う学園生のために様々な角度から心強い応援をして下さる教育後援会です。生徒の皆さんが輝く笑顔で学園生活を送れるように、私も微力ながらお手伝いできればと思います。皆様共に、このメタセコイアの会を盛り上げて参りましょう。

金光学園教育後援会「メタセコイアの会」会則(一部のみ掲載)

- 目的
【第2条】この会は、金光学園の建学の精神に賛同する人たちが、学校運営について意見を出し合い、会費によって、厳しい状況下における学校経営に貢献するとともに、「金光学園教育振興協力基金」の活性化をはかることを目的とする。
- 会員
【第3条】この会は、前条の目的に賛同し、金光学園教育を応援する会費納入者をもって会員とする。
- 役員及び定数
【第4条】この会に、次の役員を置く。
会長 1名、副会長 2名以上4名以内、
幹事 7名以上10名以内、監事 2名、事務局長 1名
- 役員会
【第8条】役員会は、会長、副会長、幹事、監事及び事務局長をもって構成する。
2 役員会においては、会の運営に関するすべての事項を審議し決定する。ただし、第5条の役員選出は除く。
3 役員会の議事は、出席者の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

- 総会
【第9条】総会は、必要に応じて会長が招集する。
2 総会が開催されない場合は、当該年度の活動報告及び会計報告は紙面をもって行うこととする。
- 運営及び年会費の額
【第11条】この会の運営に要する経費は、年会費、その他の収入をもって充てる。
- 年会費の使途
【第12条】年会費は「教育振興基金」に、役員会で決定した額を寄付し、その具体的な使途については学校と相談して決定する。
A 施設設備等充実基金
B 奨学基金
C 生徒活動助成基金

附則 第12条の下線部分を改正いたしました。
平成28年4月18日より施行。

「メタセコイアの会」創設以来8年の実績

8年間で、**延べ**1,688名が入会
会費総額 16,189,172円

11,304,324円を寄付



年度	入会者数	会費総額	寄付金額	事業内容
H20年度	252	2,454,920	0	
H21年度	176	2,249,350	1,910,000	記念講堂外壁・窓等改修
H22年度	186	1,891,990	2,000,000	記念講堂設備・内装補修
H23年度	261	2,308,612	0	
H24年度	244	2,268,320	2,500,000	ほつま体育館舞台吊物改修補助
H25年度	207	1,832,760	0	
H26年度	172	1,478,390	4,894,324	120記念館大講義室長机(80)椅子(260) 新規購入 創立120年記念音楽会「鼓童」補助
H27年度	190	1,704,830	0	

平成27年度会計報告

科目	金額	摘要
収入	2,437,609	
会費	1,704,830	会員数190名
繰越金	732,281	前年度繰越金
雑費	498	受取利子
支出	397,306	
印刷費	262,285	会報誌20,000部
会議費	15,497	総会・役員会茶菓代
通信費	117,756	切手・葉書・会報誌発送
寄付金	0	
雑費	1,768	振込手数料他
差引残高	2,040,303	H28年度に繰り越し

会員の皆さまからのメッセージ

■少子化の中、母校が学力向上と特色ある人づくりの充実した教育機関となるよう願っています。また、それに向けての何らかのご協力ができたらと考えています。■この春、娘は大学生になり、金光学園でお世話になった先生方すべての方々に感謝しながら大学生活を送っています。■メタセコイアが美しく空にそびえている姿を眺めると、金光学園が益々発展することを祈らずにはおれません。今日ある私も金光学園のお蔭と感謝しております。■倉敷の小学校に勤めています。金光学園の気持ちは高く、毎年何名かの子供が進学しています。■奨学金等ソフト面を主体に使用したらどうでしょうか。■懐かしい金光の地に、大きくなったメタセコイアの下に立ってみたい気持ちは一杯ですが…。■魅力ある学園、活力ある学園作りに資金を投資してはどうでしょうか。■73年前、金光中、金光高と6年間、多くの先生から教えていただいたことは忘れることができません。■大変な時代です。良き人材の育成に更なるご努力を!! ■生徒諸君の活躍、遠方より嬉しく拝見しています。当会も益々発展されるよう祈念しております。



金光学園

「メタセコイア」のドラマ

●今や、金光学園の象徴的存在で、この会の名称でもある「メタセコイア」の歴史を紐解いてみましょう。昭和34年に当時の中学3年生によって、今のメタセコイアは植樹されました。植樹に使われた苗木は金光図書館前のある木からとったものでした。●では、金光図書館にあった「メタセコイア」はどこからやってきたのでしょうか。実は、ここに大きなドラマが隠されていたのです。

●そもそも、「メタセコイア」は昭和16年に京大の三木博士が化石を発見し、その植物に「メタセコイア」と命名。その後、中国で生きた「メタセコイア」が発見され、その一部がハーバード大学やカリフォルニア大学に送られました。●昭和24年にカルフォルニア大学のチェイニー博士が植物学者でもある昭和天皇にメタセコイアの苗木と種子500粒を献上しました。それを日本に持ち帰られたのが、金光教サンフランシスコ教会の福田美亮先生でした。●福田先生は天皇にメタセコイアを献上された後、三木博士にも会われお二人の交際が始まりました。三木博士は昭和28年10月に金光図書館を訪ねられ、一鉢の「メタセコイア」を寄贈されました。●皇居の「メタセコイア」は68歳、金光図書館の「メタセコイア」は63歳、金光学園の「メタセコイア」は57歳になります。メタセコイアは6千万年の生命を永々とつないでいる、悠久の生命の象徴ともいえる植物です。金光学園が、メタセコイアの木の様に、真っ直ぐ永遠に生き続ける学校であってほしい、そんな願いを抱くこの頃です。

木村多志 記(高32回卒、メタセコイア役員)